



▲祖父に買ってもらったグローブを長年愛用。野球への思いが込められた「誇鷹咲花」という言葉が縫い込まれている。

# 桂川から“世界”へ 羽ばたく18歳のマドンナ



学校法人神村学園高等部 野球部

今井 巴菜 *Imai Hana*

## Profile

平成12年生まれ。小学校2年生から野球を始める。桂川小学校、桂川中学校を経て、鹿児島県の神村学園高等部に進学。今年初開催の第1回BFA女子野球アジアカップの日本代表選手に選出。日本女子プロ野球リーグにも内定合格。身長161cm。左投げ左打ち。投手。最大の武器はスライダー。

- 日本女子プロ野球リーグ内定合格、U-18日本代表選抜決定おめでとございます。ありがとうございます。
- 日本女子プロ野球リーグ入団テストを受けた際の手ごたえはどうでしたか？
- 終わった瞬間に「受かったかな」と思いました(笑)。
- 緊張はしませんでしたか？
- 全くしなかったですね。むしろ憧れの女子プロ野球選手の植村選手(※)が試験会場にいらっしやって、やる気しかなかったですね。
- 緊張しない秘訣は？
- 自分の世界に入ることですね。あとは、練習をたくさんして自信をつけ、強い気持ちをもってマウンドに入れば緊張はしません。
- 今までの野球人生の中で一番影響を受けた人は？
- 小学校から中学校にかけて教えていただいた桂川町野球スポーツ少年団の田中監督です。
- プロ野球選手を目指そうと思ったきっかけは？
- 植村選手を小学校5年生の時に見て、投球フォーム、プレイスタイルなどに憧れ、プロ野球選手を目指そうと思いました。また、神村学園に進学したのも、植村選手の出身校だからです。
- 今では今井選手も憧れられる立場だと思えますが、女子プロ野球選手を目指す子どもたちに向けてメッセージをお願いします。
- 女子プロ野球は世間での認知度は低いと思います。でも、男子プロ野球とは違う魅力がたくさんあります。その魅力を知ってもらうためにも、女子野球界を私と一緒に盛り上げていきましょう。
- 女性だからといって諦めないで自分の目標に向かって頑張ってください。
- 最後に、アジアカップでの目標をお願いします。
- アジアカップを通して色々なことを学ぶと思いますので、それをプロ野球の場で活かしたいと思います。優勝して日本に帰ってきます。

※植村 美奈子 (1993年1月26日)。女子プロ野球選手(フローラ所属)。京都府福知山市出身。